



民児協いばらき

☆民生委員・児童委員徽章は、幸せのクローバーに「み」の文字と双葉で鳩をかたどり愛情と奉仕を表しています。

2014年(平成26年)1月15日 第72号



つくば 光の森2013 けやき並木のイルミネーション

鶴見編集委員 撮影

目次

- 新春のあいさつ（会長）…………… 2
- 第32回県民生委員児童委員大会…………… 2
- 新年あいさつ（知事）…………… 3
- 全国民生委員児童委員大会に参加して …… 3
- 相談技法研修会に参加して…………… 4
- 全国主任児童委員研修会に参加して…………… 4
- 退任にあたって…………… 5
- 地区民児協だより
 - ・北茨城市…………… 6
 - ・鹿嶋市…………… 6
 - ・土浦市…………… 7
 - ・古河市…………… 7
- 事務局だより…………… 8
- 編集後記…………… 8

広げよう 地域に根ざした 思いやり

新春のあいさつ



県民児協会長 高木 彦 治

新春を迎え、皆様とともに喜びを申しあげます。昨年12月に再任された委員の方々、新たに委員として委嘱された方々におかれましては、民生委員児童委員活動に大きな責任と希望を持って新年を迎えられたことと思います。

特に新任の委員さんは、仕事の内容に不安をお持ちになっているかと思いますが、先輩民生委員児童委員の経験と知識を吸収し、地域のニーズに応じて福祉の向上に努力していただきたいと思っております。県民児協としても、新任委員さんをはじめ、皆様の活動の一助となるよう研修会等を開催していきます。

さて、3年後には民生委員制度創立100周年という記念すべき年を迎えます。「広げよう 地域に根ざした 思いやり」の行動宣言の集大成となることと思っております。

私は昭和52年に委嘱を受けて36

年間、鹿嶋市連合民児協会長、県民児協会長、全民児連理事など多くの要職を勤めさせていただき、県内はもとより全国に多くの知人、友人ができましたことは委員にならなかつたらできなかったことと思っております。皆様も多くの知人、友人をつくり、人生の中で素晴らしい経験の期間であることを大切にしてください。私も退任後は、民生委員児童委員の知識と経験を生かし、地域の小さな福祉活動の支援ができればと思っております。最後になりましたが36年の間にご支援ご協力をいただきました先輩や仲間、そして事務局の皆様は大過なく退任できますことを感謝申し上げます。委員の皆様のご活躍をお祈り申しあげ、新年のあいさつといたします。

第32回茨城県民生委員児童委員大会開催

県民児協理事 瀬畑 洋子

菊の香りに包まれた穏やかな昨年の11月6日、第32回茨城県民生委員児童委員大会が復旧された茨城県立県民文化センター大ホールを会場に盛大に開催されました。

はじめに、クッキングスクールネモト、根本悦子先生より「今伝えたい食の知識」というテーマで講演いただきました。日本古来の食文化が失われることへの危機感をもちはじめ、食文化の歴史や伝統、食べ物と身体の関係テーマに食に対する独自の考え方を開拓しているとのことでした。五節句から学ぶ食べ方の知恵、行事料理食に対する文化、歴史、そして郷土料理の伝統を明るくユーモアに説かれました。平均寿命より健康寿命を大切にすることを訴え、食は人を育み、わたしたちの生活を健康で豊かにする知恵と実践の文化と伝えられました。

式典は、橋本県知事をはじめ、多くのご来賓出席のもと、主催者高木会長のあいさつで始まりました。顕彰では、県会長表彰775人、全民児連会長表彰139人、潮来市

優良民児協表彰と委員の方々が受賞されました。受賞者代表謝辞では感謝の言葉と共に、更なる福祉充実のための活躍を誓われました。

大会宣言では、支援を必要とする住民への日常的見守り・相談活動を着実に実践する「広げよう 地域に根ざした 思いやり」行動宣言のもと、6項目の宣言を採択されました。最後に、参加者全員で「花咲く郷土」を斉唱、これからの民生委員児童委員活動の一層の充実を目指す有意義な大会となりました。

第32回 茨城県民生委員児童委員大会



新年あいさつ



茨城県知事 橋本 昌

あけましておめでとうございませす。

民生委員・児童委員の皆様には、日頃から地域住民の方々に対する様々な相談や援助活動を通して、社会福祉の向上に多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災や原発事故などの影響が依然として残る厳しい一年でありましたが、一方で、経済面では明るい兆しも見え始めました。

本年は、震災からの復興をしっかりと進めるとともに、引き続き「人が輝く元気で住みよい いばらき」の実現に全力で取り組んでまいります。

まず、我が国の将来を担う「人づくり」のため、少人数教育や理数教育・国際理解教育の推進、道徳教育・郷土教育の充実、いじめ対策などに取り組んでまいります。また、厳しい地域間競争に勝ち

抜くため、広域交通ネットワークの整備や一層の企業誘致に加え、最先端科学技術の拠点づくりや中小企業の振興、儲かる農業の実現、観光の振興などを進めてまいります。

さらに、地域医療の充実や結婚・子育て支援、高齢者の健康・生きがいづくり、障害者の自立支援、霞ヶ浦の水質浄化などに力を注いでまいります。

昨年12月には一斉改選が行われ新任の方が新たに加わりましたが、再任の方を含め民生委員・児童委員の皆様におかれましては、引き続き地域福祉の推進役として、本県の社会福祉向上のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

茨城県民生委員児童委員協議会の更なるご発展と、皆様の益々のご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして新年のごあいさつといたします。

全国民生委員児童委員大会に参加して

県民児協理事 中山 美代子

第82回全国民生委員児童委員大会が10月10日～11日、千葉県千葉市で開催され、本県から32名が参加しました。

初日は、主会場の幕張メッセ「イベントホール」に全国から約4000名が一堂に会し、盛大に開会式典が挙行されました。

「下総之國銚子はね太鼓保存会」のオープニング後、全県児連会長の主催者あいさつのうち、78カ所の優良民児協、全県児連会長表彰があり、本県では潮来市民児協が受賞されました。

式典後は、北里大学病院の患者支援センター部長小野沢滋氏の「自分が望むところで生活し続けるために」民生委員児童委員に期待すること」と題した講義がありました。

先生は、学生時代から在宅医療を目指し、地域医療支援部を立ち上げ、患者支援の仕組み作りを行っている。在宅医療支援が整っていることは、要支援者にとって住み慣れた環境で安心して生活できるわけです。高齢者のひきこもり・孤独死の増加の中、

いかにSOSの発信をキャッチして生かすかがポイントです。もし助けなくなったら、互助・共助・公助の精神で助け合うことが大切ということでした。

2日目は、10のテーマに基づいた「活動交流集会」が千葉市内各会場で開催され、全員が事前に希望した各グループに分散し、コーディネーターやパネリストの話を拝聴しました。



民生委員・児童委員のための 相談技法研修会に参加して

阿見町民児協副会長 豊田芳英

平成25年度民生委員・児童委員のための相談技法研修会が、昨年8月1日～2日まで、全国から141名が参加して新横浜国際ホテルにて開催されました。

1日目は、全社協民生部の妹尾副部長のあいさつのち、元梅花女子大学准教授植田寿之氏による当事者理解のために「相談援助の視点と態度」についての講義を受けました。その中で ①暮らしを支える視点 ②援助の基本的態度《プライバシーに留意することで安心を与える(秘密保持)、あくまでも側面から援助する(自己決定)》など人間的なかわりあい、ふれあいの関係を大切に、相手を尊重することが基本であると学びました。その後「相談・支援のポイント」をテーマとしたビデオ学習を行い、24グループに分かれ事例演習により各グループから発表し、講師の植田氏よりコメントをいただきました。

2日目は、「相談援助の原点と本質」「相談面接技法」の講義ののち、



「相談面接実際」のロールプレイを行い、各グループでの結果を発表し、植田講師よりコメントをいただきました。今般の2日間の研修会に出席し大変勉強になり、今後の活動をより推進できるよう、努めたいと思います。

全国主任児童委員研修会に参加して

取手市主任児童委員 萬 とも子

昨年8月28日～29日、平成25年度全国主任児童委員研修会(東日本)が浜松市のグランドホテル浜松の会場で開催され、265名が参加しました。

1日目は、行政説明を厚生労働省の三浦幸氏が「児童福祉の動向と児童委員活動」と題して話され、続いて明治学院大学松原康雄教授による「子ども、子育て家庭をめぐる課題」と主任児童委員の活動」の講義がありました。その後、昭和女子大学高橋久雄教授のコーディネートで、シンポジウムがありました。富山市民児協齋藤会長による中学校での「ほっと相談室」の活動が心に残りました。各委員が研修を受けた上で、思春期の生徒と向き合う姿は日々の活動の継続が大切なことであり、大変有意義な時間でした。

2日目、私は分散会A会場にて、「孤立しがちな子育て家庭の支援、児童虐待の早期発見、早期対応について」～関係者との連携及び主任児童委員の役割～をテーマに関西学院

大学前橋信和教授の講義がありました。三つのテーマの中で、グループワークが行われ、「不登校児を学校に戻す」私自身の活動を発表させていただきました。参加した皆さんの発表は、とても参考になり、今後の活動に生かそうと思います。

2日間の充実した研修を通じ、関係機関と連絡を密にし、子どもの立場を第一に考えた活動をしていくつもりです。



退任された 県民児協 役員の方々

退任にあたって



高木 彦治
任期の終わりを迎
え、委員一人ひとりの愛と友情、また、児童や高齢者、生活困窮者の方々のために尽力しようとする熱意に対し、その活動に心から敬意を表します。会長として共にできましたこと、光栄に感じました。永い間私を支えていただきました皆様と事務局に改めてお礼申し上げますとともに県民児協の益々の発展をご祈念いたします。

退任にあたって皆様へ感謝



渡邊 和雄
委員の委嘱を受けて以来諸先輩同僚の方々にご指導いただき職責を果たすことができました。心より感謝を申し上げます。「委員として出会えた皆様は私にとって皆師匠」でありました。県民児協の益々の発展と委員皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

退任を迎えて



小室 正行
この度の一斉改選により、県民児協の理事として短い期間

でしたが、微力ながら大過なく職責を果たすことができました。先輩理事、事務局の皆様のご指導、ご支援に深く感謝申し上げます。これまですばらしい民生委員児童委員の仲間
に助けられ、30年間、無事に努めることができ、心から厚く御礼申し上げます。

退任にあたって



関根 利雄
県民児協の皆様には、9年間評議員、理事としてご指導を

いただき勉強することができ、心から感謝申し上げます。民生委員児童委員として12期36年間、多くの委員と共に、地域の福祉問題と取り組んできましたが、東日本大震災により、委員は防災、支援等、また、少子高齢化時代により多様化する社会情勢の中、これからの民児協のご活躍をご祈念申し上げます。

敬意と感謝



瀬畑 洋子
民生委員として33年余り、皆様の温かい励ましとご指導に心より感謝申し上げます。

また、3・11未曾有の事態を乗り越え開催された関東ブロック大会は、皆さまからの大きな支援、励ましが心の暖となり新たな希望の芽吹きを感じられ、心に深く刻まれました。県民児協の益々の発展をご祈念いたします。

感謝とお礼を



長谷川 彌
県民児協の評議員・理事等を拝命し9年間、多くの皆様

方や事務局のご指導のもと大過なく職責を果たすことができました。心より感謝とお礼を申し上げます。特に、県民児協創設30周年記念事業の10年小史「思いやり」の発刊、東日本大震災直後に開催した関東ブロック活動研究協議会報告書の発刊、民児協いばらきの発行と楽しい思い出が一杯です。これからの県民児協のますますのご発展をご祈念申し上げ、退任のご挨拶といたします。

退任にあたって



宮本 勇
この度の一斉改選により退任することになりました。在任

中は地域福祉の充実をめざし、微力ながら活動して参りました。この間、皆様方のご指導ご支援に支えられ職責を果たすことができました。心から感謝申し上げます。県民児協の1層のご発展をご祈念申し上げます。

退任にあたりまして



五十畑 まち子
30有余年間、無事に任期を迎えられましたことは、県民児協の皆様方のご指導・ご協力に助けられ職責を果たすことができました。振り返ってみますれば、沢山の想

い出、お世話になりましたこと、私は大切な心と宝を皆様よりいただき、ありがとうございます。皆様方の益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

退任にあたって



平井 純子
民生委員児童委員としての24年、その内の6年間を県民児協評議員、監事として活動させていただきましたことは私の誇りでございます。

また、全国大会等で学んだ多くのことや、日々の活動で得た体験は貴重な財産となりました。ご指導、ご支援していただいた皆様に改めて感謝申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈りいたします。

これ以上の誉れはありません



朝日 光臣
初任は45歳の時でした。その頃は地域の名士といわれる人が名誉職として「福祉六法」により措置をする時代でしたが、次々に充実され、今は多様な関係法令により福祉も契約の時代となりました。夢のように過ぎた30年でしたが、昨春藍綬褒章を賜り、これ以上の誉れはありません。有難うございました。



協 だ よ り

北茨城市

復興進む北茨城

北茨城市北部地区民児協会長 鈴木正義

間もなく3年の歳月を迎えようとしている東日本大震災。北茨城市においては、5名の死者と1名の行方不明、関連死として4名の方が犠牲となりました。

当時、津波被害を主とした全壊400戸、半壊1524戸、一部損壊6297戸と市内全戸の約半数に当たる家屋が損壊し、現在も214世帯505名の方々が、生まれ育った地域を離れて、やむをえず公営住宅や民間借り上げ住宅などでの不自由な生活を余儀なくされております。

応急仮住まい住宅には、高齢又は低所得により自立再建が困難な方が多く、今年度より北茨城市ではこれらの皆様に対し、平潟町、大津町、中郷町の市内3地区に「災害公営住宅」の建設を始め、9月中旬から入居申し込みを開始しました。

3地区の合計戸数は110戸でしたが、申し込み数が当初推定を40戸近く上回り、要望に対応するため、来年度の完成になりますが、磯原町にも「災害公営住宅」建設計画が決定し、現在進行中です。

この建設計画に伴い、私たち民生委員児童委員の担当区域の見直し、家族構成の把握、要支援者の所在確認といった新たな作業があります。

この度の一斉改選を機に、改めて支援を要する地域の方々に私たちの活動を展開して行きたいと思っております。

震災以降、県内外30数カ所、千数百人の民生委員児童委員の皆様が当地を訪れて戴き、復興への激励を賜りまして厚くお礼申し上げます。

まことにありがとうございます。



大津地区災害公営住宅完成予想図

鹿嶋市

鹿嶋市みたらし地区民児協の活動について

鹿嶋市みたらし地区民児協会長 橋本重彦

鹿嶋市民児協は、みたらし地区、さざなみ地区、はまなす地区の3地区の単位民児協で構成されています。

この地区名ですが、「みたらし」は鹿島神宮の御手洗池から、「さざなみ」は太平洋の穏やかな波から、「はまなす」は旧大野がはまなす自生南限地帯であることから決めました。

私たちみたらし地区民児協は、中学校2校、小学校4校の地区で、主任児童委員2名を含め31名で活動しています。

定例会では、事項別担当委員の事例発表、主任児童委員の活動報告、行政による福祉制度の概要説明や、福祉施設の視察研修を実施し、委員相互の連携と資質の向上に努めています。そして、担当地区で発見した問題は、関係機関に「報・連・相」して早期解決を図っています。

児童・生徒の健全育成では、毎年4月に主任児童委員を中心として学校訪問を行い、情報交換を行うなど学校との連携に努めております。また、5月の民生委員児童委員強化週間では、担当地区内の小学校の登校時の立哨活動を行っております。

地域活動では、鹿嶋市社会福祉協議会が、小学校区単位に「地区社協」を設置し、地域で支えあい、協力し、誰もが安心して生活できる地域づくりをしており、民生委員児童委員もその主要メンバーとして地域福祉の充実に取り組んでおります。

わたしたちみたらし地区民児協は、地域住民が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、行政及び関係機関と連携を図りながら、引き続き支援活動に取り組んでまいります。



地 区 民 児

土浦市

土浦市一中地区民児協の活動について

土浦市一中地区民児協会長 佐野道夫

土浦市には八つの中学校区それぞれに単位民児協があります。一中地区民児協は主任児童委員2名を含めて39名からなります。特に大事にしていることは委員相互の意思の疎通です。いくつか事例を挙げてみます。

一つは活動の源泉となる「定例会の改善」に取り組んできました。「事項別研修」「児童福祉部会報告」「事例研修」の充実・活性化です。中でも「事例研修」は、活動上の課題や日頃の悩みを率直に出し合い情報を交換することで日常活動の活力の源になっています。つぎに「視察研修」です。「県外1泊研修」は車内や夜の懇親会が人間関係を育む好機となり、その後日常活動の様々な情報交換を円滑にすることにつながっています。

また「広げよう 地域に根ざした 思いやり」の実践活動として災害時要援護者の住所を明示したロードマップを町内ごとに作成。日常活動の見守り支援や急場に備えています。

最後に「赤ちゃん全戸訪問」。5年前から市との協働事業となり一段と充実しました。その後の家庭との交流が児童福祉全般の活動に奏功しています。そして学校や地域との連携も主要活動としてその充実・推進を図っています。

活力ある民児協には委員相互の意思疎通こそが何より肝要。常々意を用いています。



古河市

古河市民生委員児童委員連合協議会の活動について

古河市民生委員児童委員連合協議会 赤坂明

古河市民生委員児童委員連合協議会は、平成24年9月に、5地区の地区民児協を束ねた委員数230名(うち主任児童委員12名)の団体として設立し、1年が経過しました。この間先進自治体である水戸市民児協と交流会を行い、連合協議会の役割を学びました。

今年度の連合協議会事業としては、定期総会での講演の他、事項別委員会(母子・高齢・社会)ごとに研修会を開催し、地区は違えど民生委員同士、共通の問題に対し理解を深め、委員同士の連帯感を醸成しています。

また、各地区民児協においても、委員の意識向上のため、各種研修会を行っております。

私の所属する第3地区民児協では、日頃より委員同士の「和」を大切に、ソバ打ち教室・救急法講習会等を実施いたしました。

さらに、古河市の民生委員児童委員は赤十字奉仕団としても活動しており、市防災訓練での炊出し実演や、赤十字救急法フェスティバルに毎年参加をしております。

また全国的に高齢化が進む中、古河市では昨年度より一人暮らし高齢者等を対象に、「緊急医療情報カプセル」を配布しており、古河市民児協では全面的に協力し、成果を上げております。

今後これらに限らず、委員同士や行政等関係機関、そして地域の方々と連携を図り、住みよい地域づくりに連合協議会全体として取り組んでいきたいと思っております。



事務局だより

祝受章

この度、次の方が栄えある叙勲を受けられました。心からお祝い申し上げます。(敬称略)

○叙勲

瑞宝単光章

関根 利雄 (高萩市)

退任

一斉改選により、次の役員及び評議員の方々が退任されました。長い間、誠にありがとうございました。これからも益々ご健勝でご活躍されますよう、ご祈念いたします。(敬称略)

○理事

- 高木 彦治 (鹿嶋市)
- 渡邊 和雄 (水戸市)
- 小室 正行 (日立市)
- 関根 利雄 (高萩市)
- 瀬畑 洋子 (石岡市)
- 宮本 勇 (つくば市)
- 長谷川 彌 (潮来市)

○監事

- 五十畑まち子 (水戸市)
- 平井 純子 (石岡市)
- 朝日 光臣 (常陸太田市)

○評議員

- 飯村 義雄 (水戸市)
- 桑名 賢 (水戸市)
- 助川 二郎 (日立市)
- 細野 文哉 (土浦市)
- 折本 佐平 (土浦市)
- 飯竹 榮司 (つくば市)
- 黒澤 年雄 (ひたちなか市)
- 神尾 多門 (那珂市)
- 坂本 吉弘 (稲敷市)
- 飯島 偉市 (かすみがうら市)
- 小野塚俊男 (桜川市)
- 人見 隆 (神栖市)
- 浅野 功 (銚田市)
- 大保公比己 (つくばみらい市)
- 道口 薫 (東茨城郡)
- 齋藤 友良 (久慈郡)
- 諏訪 洋一 (結城郡)



平成二十五年度

一斉改選の状況について

茨城県福祉指導課提供の資料によりますと、平成25年12月1日時点における民生委員児童委員の定数及び委嘱数は、左表のとおりです。

今回の改選では、定数合計は変わりませんが、欠員が66名おり、早い時期に充足されることを期待しています。

また、表にはありませんが、新任、再任別では、全体で新任が31%、再任された方が69%ということで、これも前回改選時とほぼ同じ割合でした。

区分	定数 (H22)	委嘱数	欠員
地区担当	4,912 (4,911)	4,851	61
主任児童委員	324 (325)	319	5
合計	5,236 (5,236)	5,170	66

※ ()内の数値は、H22年の定数を表す

編集後記

民生委員児童委員の一斉改選により、新任の委員を迎えて、民児協の活動が活発に展開されていることと存じます。

退任された皆様、長い間ご苦勞さまでした。原稿をお寄せ下さいました皆様には厚くお礼申し上げます。「民児協いばらき」も第72号を迎え県民児協の行事、大会報告、各民児協だより等わかり易く参考になるよう編集してまいりました。

担当してきました私共一同、ご協力に心から感謝申し上げます。

- 編集委員長 長谷川 彌
- 副委員長 清水 愛子
- 委員 竹内 昌信・市村 捷二
- 鶴見 重夫・鈴木 正義
- 杉下 赫子 (清水 愛子記)

発行人
 一般財団法人
 茨城県民生委員児童委員協議会
 会長 高木 彦治

 〒310-0851
 水戸市千波町1918
 茨城県総合福祉会館内
 TEL 029-243-5361
 FAX 029-243-5902
<http://www.ibaraki-minjikyoo.or.jp>
[E-mail:iba-minjikyoo@bz01.plala.or.jp](mailto:iba-minjikyoo@bz01.plala.or.jp)